

やってみ

～あなたにもできるから、ぜひ、やってみて～

藤沢市アーチェリー協会・藤沢市ローリングバレーボール協会・神奈川湘南卓球クラブ・藤沢市肢体障害者協会
善行大越スポーツクラブ・神奈川県障がい者スポーツ指導者協議会・藤沢市スポーツ推進委員協議会
社会福祉法人 光友会・東京ガス株式会社神奈川西支店・公益財団法人藤沢市みらい創造財団
事務局(スポーツ推進課) TEL.0466-50-8243 FAX.0466-50-8433

発行日：令和4年3月15日 編集・発行：藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会

第3号



ふじさわパラスポーツフェスタ 2021

会長あいさつ

藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会
会長 種田 多化子



障がい者スポーツを知ってほしい、もっと仲間を増やしたいという思いから藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会は 2018 年 8 月に設立され、障がい者スポーツの普及・啓発のために活動しています。

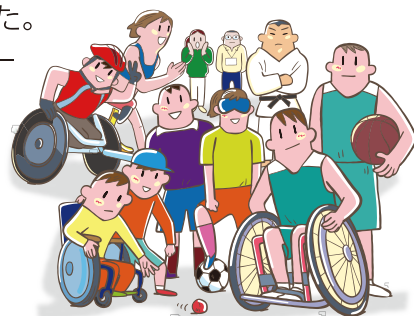
今年度も新型コロナウイルスの感染拡大は収まらず、感染力を増強した変異株が猛威をふるった時期もありました。そんな中、一年遅れの東京 2020 パラリンピック競技大会が無観客で開催されました。自国開催だけあって多くの放映があり、残された機能を最大限に活かし練習を重ねて晴れの舞台上で輝いている選手たちがいました。そこから何かを感じていただき、障がい者スポーツの輪が広がることを願っています。

「ふじさわパラスポーツフェスタ 2021」は年度当初コロナ禍の状況で開催できるかどうかもわからない中、「計画は進めていこう」と意見がまとまり、コロナ感染対策を考慮して規模を縮小して事前申込制にして進めていきました。幸いにも開催日前後の感染状況は落ち着いていたため、開催することができました。反省点もありましたが、多くの方が楽しく体験してくださったことは嬉しいことです。

2021 年 4 月には、藤沢市スポーツ連盟が設立されました。私共藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会も加盟しています。そして、10 月 1 日に藤沢市スポーツ都市宣言が制定されました。オリンピック・パラリンピックのレガシーを未来につなぐため、藤沢市のスポーツ団体と連携して活動をしていきます。障がいがある人もない人も互いを尊重し、支え合い、違いを認め合える共生社会の実現を目指していきます。

障がい者スポーツは「できることをできる限り頑張る」スポーツです。初めの一步を踏み出すことは勇気のいることですが、障がいがあってもできることがあるので「ぜひ、やってみて」いただきたいと思います。

どこかでお会いしましょう。



令和3年度藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会事業紹介

ふじさわパラスポーツフェスタ 2021 を開催しました!

【日時】 2021年11月28日(日) 12:15～15:30

【場所】 秩父宮記念体育館 【参加者】 333人

【ゲスト講師】

車いすバスケットボール女子日本代表 小田島 理恵 選手

【実施種目】

パラ卓球、ケアトランポリン、義足体験、ボッチャ、ローリングバレーボール、パラバドミントン、
ブラインドサッカー®、車いすバスケットボール、サウンドテーブルテニス、
まちかど健康チェック（血管年齢・握力測定）、
ねんりんピックかながわ 2022PR ブース、パラアスリートパネル展示、
東京 2020 オリンピック・パラリンピックレガシーブース、障がい者関係法人協議会ブース



車いすバスケットボール



ケアトランポリン



ボッチャ



義足体験



サウンドテーブルテニス



卓球バレー

buen cambio yokohama(ブラインドサッカー)

～ふじさわパラスポーツフェスタ2021に参加して～

この度は、ふじさわパラスポーツフェスタ 2021 に参加させていただきありがとうございました。コロナウイルスの影響もあり今回のようなイベントは久しぶりでしたが、当日はたくさんの方々にご来場いただきました。特にファミリー層での来場が多く、お子様目線、大人目線どちらでも楽しんでいただけるような体験プログラムを組むように心がけました。実際に年齢問わず多くの方々にブラインドサッカーの魅力を感じていただけたのではないかと思います。

～活動紹介～

私たちは神奈川県唯一のブラインドサッカーチームとして横浜を中心に神奈川県内で活動しています。「誰も置いてきぼりにしない楽しい練習環境づくり」を理念に毎週日曜日に横浜市立盲特別支援学校で練習を行っていて老若男女様々な選手・サポーター



が在籍しています。現在も選手・ボランティアともに大募集中ですので少しでも興味がある方はぜひ一度お越しください! 見えない世界を体験してみませんか?

buen cambio yokohama →
ホームページ



ふじさわパラスポーツフェスタ 2021 協力団体へインタビュー!

藤沢TTバド(バドミントン)

～ふじさわパラスポーツフェスタ2021に参加して～

東京2020パラリンピックの種目にパラバドミントンが入ったことをきっかけに参加することになり、今回で2回目の参加になりました。今回はスポーツ用車いすを4台用意していただき、車いすバドミントンを体験していただきました。バドミントンのプレイ



のほかに車いすの操作が必要なため大変そうでしたが、体験された後笑顔だったのが印象的でした。多くの方が体験に来てくださり嬉しかったのですが、最後には時間が足りなくなってしまい申し訳ない状況でした。次回はこれらの反省点を改善して、体験していただこうと思います。

～活動紹介～

2004年の全国障害者スポーツ大会に出場したことがきっかけとなり、その当時神奈川リハビリテーション病院の義肢装具士だった先生と知り合いバドミントンを始めることになりました。約5年後、大会で出会った指導者の方から「地元で練習すると良いよ」と言われ、ボランティアの指導者も紹介していただき、藤沢で練習することになりました。現在は太陽の家体育館で月1回土曜日の午後2時間練習しています。できる限りのバドミントンを楽しんでいます。



東京2020パラリンピック競技大会が開催されました

パラリンピック選手にインタビュー！

東京2020パラリンピック競技大会にて、ボッチャの日本代表として活躍された、藤沢市在住・藤沢市役所所属の木村朱里選手にインタビューしました！



©Tomokazu Matsukawa

<プロフィール>

木村 朱里(きむら じゅり)
所属：藤沢市役所
ポジション/クラス:BC4
東京2020パラリンピック
競技大会成績：ペア戦 8位

Q 東京2020パラリンピック競技大会を終えられて、率直なお気持ちを教えてください。
木村：コロナ禍において様々な困難がありましたが、多くの方の協力のもと東京2020パラリンピック競技大会が開催されたこと、また最後まで無事に大会に参加できたことに感謝しています。

Q パラリンピックでは、選手村など会場の様子はいかがでしたか。

木村：障がいがある選手、車いすや義足、ボランティア、国籍もさまざまな人が選手村内で往来している風景を見て、こういった世界が広がっていけば多様性のある社会が実現していけるのではないかと感じました。

Q ボッチャの魅力・難しい点はどのようなところでしょうか。

木村：ボッチャはルールがわかりやすいので老若男女、年齢を問わず誰でもすぐ、一緒にゲームを楽しむことができるのが一番の魅力だと思っています。ただ単純そうに見えても実際にやってみると思った通りにプレイできないのが難しい点だと思います。



Q 本誌をご覧になっているみなさまに、メッセージをお願いします。

木村：東京2020パラリンピック競技大会は多くの応援をありがとうございました。みなさまの応援のおかげで私たち火ノ玉JAPANは一丸となって試合に取り組むことができました。

パラリンピックをきっかけにボッチャに少しでも興味を持っていただけたら嬉しい限りです。今後も応援よろしく願いいたします。

藤沢市でポルトガルパラリンピック選手団事前キャンプが実施されました

ポルトガルパラリンピック選手団の事前キャンプが、神奈川県立スポーツセンターで行われました。コロナ禍のため、選手と交流することはできませんでしたが、バドミントンとボッチャの練習風景を見学することができました。

バドミンントンの選手は繰り返し基礎練習をされていて、基本的なトレーニングが大切なのだと感じました。ボッチャの選手たちは重度の障がいがある方もおり、食事などのケアが必要な方がサポートを受けてパラリンピックに参加しているのがすごいと感じました。間近で見学したボッチャの選手が団体の3位決定戦で日本と対戦していて、パラリンピックで活躍されたことを知り、嬉しく思いました。



陸上競技場では、陸上競技・自転車競技の選手も事前キャンプをされていました。

